

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6193 URL http://www.vx-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,476	19.6	74	—	71	—	47	—
2021年3月期第1四半期	1,234	△13.4	△93	—	△95	—	△103	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 46百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △104百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	16.40	16.31
2021年3月期第1四半期	△36.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,424	608	24.9
2021年3月期	2,581	552	21.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 604百万円 2021年3月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	16.1	125	—	120	—	80	—	27.79
通期	6,100	8.3	225	36.5	220	21.2	160	44.6	54.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	2,944,953株	2021年3月期	2,943,453株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	64,572株	2021年3月期	64,572株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	2,879,062株	2021年3月期1Q	2,878,653株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、政府から緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出される等、事態収束の兆しが見えず、依然として先行き不透明な状況が続いております。新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあり、持ち直しの状況に向かうことが期待されます。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を継続して行ってきました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,476,417千円（前年同四半期比19.6%増）、営業利益74,192千円（前年同四半期は営業損失93,193千円）、経常利益71,323千円（前年同四半期は経常損失95,680千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益47,213千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失103,783千円）となりました。

IT&コンサルティング事業は、前年同期は新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限されるなど売上は低調に推移していましたが、当期は回復から好調に転じ、また前年第2四半期から開始した大型コンサル案件も順調に拡大推移していることなどから、前年同期比で増収となりました。利益面では売上増の影響とプロジェクト利益率の向上により前年同期比で大幅に改善しました。その結果、売上高は832,749千円（前年同四半期比39.6%増）、セグメント利益は152,297千円（前年同四半期比515.3%増）となりました。

アウトソーシング事業は、一部の案件について引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、売上は堅調に推移しました。また、前期から引き続き効率化など利益率の改善を進めてきました。その結果、売上高は643,667千円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は125,675千円（前年同四半期比51.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より156,841千円減少し、2,424,697千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より現金及び預金が122,747千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より212,434千円減少し、1,816,158千円となりました。これは主に、借入金が157,274千円、賞与引当金が96,565千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益47,213千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より55,593千円増加し純資産は608,539千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日（2021年8月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、今後のコロナ状況やその他の情勢変化により、業績予想は大きく変動する可能性があります。修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	447,570	324,822
受取手形、売掛金及び契約資産	—	864,447
受取手形及び売掛金	785,635	—
開発事業未収入金	131,537	—
仕掛品	23,064	20,683
前払費用	85,103	109,981
その他	35,084	51,305
貸倒引当金	△18,029	△18,029
流動資産合計	1,489,966	1,353,211
固定資産		
有形固定資産	93,996	107,727
無形固定資産		
ソフトウェア	109,531	94,873
ソフトウェア仮勘定	65,649	78,310
その他	3,820	3,820
無形固定資産合計	179,002	177,004
投資その他の資産		
投資有価証券	513,285	492,892
その他	305,288	293,860
投資その他の資産合計	818,573	786,753
固定資産合計	1,091,572	1,071,486
資産合計	2,581,538	2,424,697
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,742	98,284
短期借入金	200,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	140,176	106,852
未払金	235,636	192,922
未払費用	47,370	42,502
リース債務	1,807	1,807
未払法人税等	121,942	25,661
未払消費税等	117,984	102,360
未払事業所税	6,606	2,636
前受金	55,882	246,620
預り金	41,869	113,123
賞与引当金	181,126	84,561
受注損失引当金	36,815	25,935
その他	18	18
流動負債合計	1,330,979	1,193,288
固定負債		
長期借入金	683,610	609,660
その他	14,003	13,209
固定負債合計	697,613	622,869
負債合計	2,028,592	1,816,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,459	598,849
資本剰余金	302,013	302,403
利益剰余金	△302,725	△251,360
自己株式	△49,528	△49,528
株主資本合計	548,219	600,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,725	4,062
その他の包括利益累計額合計	4,725	4,062
新株予約権	—	4,110
純資産合計	552,945	608,539
負債純資産合計	2,581,538	2,424,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,234,460	1,476,417
売上原価	1,036,492	1,120,933
売上総利益	197,967	355,484
販売費及び一般管理費	291,161	281,292
営業利益又は営業損失(△)	△93,193	74,192
営業外収益		
受取利息	34	38
投資事業組合運用益	1,098	—
その他	341	895
営業外収益合計	1,474	933
営業外費用		
支払利息	1,699	1,504
支払手数料	721	721
投資事業組合運用損	1,394	1,402
その他	145	174
営業外費用合計	3,961	3,802
経常利益又は経常損失(△)	△95,680	71,323
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△95,680	71,323
法人税等	8,102	24,109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103,783	47,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,783	47,213

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103,783	47,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△375	△663
その他の包括利益合計	△375	△663
四半期包括利益	△104,159	46,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104,159	46,550
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来受注制作のソフトウェア開発契約については進捗部分について成果の確実性が見込まれるものについて工事進行基準を、その他のものについては完成基準を適用しておりましたが、少額または短期のものを除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、履行義務の結果を合理的に測定できる場合は、見積総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しています。少額かつ短期の開発契約については完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従って、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,684千円増加し、売上原価は4,919千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,765千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は4,151千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」及び「開発事業未収入金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過措置に従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	596,706	637,753	1,234,460	1,234,460
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	596,706	637,753	1,234,460	1,234,460
セグメント利益	24,751	82,724	107,476	107,476

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	107,476
全社費用(注)	△200,670
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△93,193

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	832,749	643,667	1,476,417	1,476,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	832,749	643,667	1,476,417	1,476,417
セグメント利益	152,297	125,675	277,973	277,973

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	277,973
全社費用(注)	△203,780
四半期連結損益計算書の営業利益	74,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。